

ものづくりを担う企業として、次世代を支える若い世代の育成に貢献する——。
 そのためのさまざまな取り組みが、
 世界各地のミネベアミツミの拠点で進んでいます。
 出前授業、職業体験、環境教育…それぞれの担当者に、
 狙いや実績について語っていただきました。



ミツミロボット工学研究室

ミツミセブ工場(フィリピン)

CEBU MITSUMI, INC.
 Human Resource Division
 Recruitment Specialist
Desiree Peralta

近年、フィリピンでは製造業者にとってエンジニアの人材確保は深刻な課題です。ミツミセブ工場では、若い世代にエンジニアとしてキャリアを積むことに魅力を感じてもらおうと、わたしたちの所有する研究・実験設備を大学に貸し出すとともに、従業員を講師として派遣する「ミツミロボット工学研究室」(以下「研究室」)を2016年から実施しています。

大学には、必ずしも最新の研究設備が備えられているとは限りません。わたしたちが設備を提供することで、学生たちはより質の高い研究に触れ、最新のテクノロジーを実際に体験することができます。もちろん、質の高いエンジニアの育成に資するという意味で、大学や学生にとってもわたしたち企業にとっても、そして製造業界全体にとっても、非常に有益なプログラムだと考えています。

大学の協力を得るのに苦労する場面もありましたが、産業界に、そして学問の場に必要なることを大学側と話し合い、工場ツアーやOJT^{*}などの取り組みを重

ねてきたことが、今回の成功につながったと思っています。

これまでに「研究室」に参加した学生たちは、二つの大学から合わせて100名近くになりました。アンケート調査での満足度は非常に高く、受講後に急遽当社でのOJTに参加を決めた学生もいます。また、一つの大学のコンピュータエンジニアリング学部では、この「研究室」が卒業までの必修科目に指定されることになりました。

将来的には、参加した学生に実際に地域の問題解決のためのプロジェクトを立ち上げてもらうという取り組みも考えています。同時に、さらに多くの大学で「研究室」を開催し、優秀なエンジニアの育成に貢献したいと思っています。

^{*}On the Job Training。実務を通じて行う従業員教育のこと。



従業員による講義

子どもたちへの環境教育

バンパイン工場(タイ)



NMB-Minebea Thai Ltd.
Human Resources and Administration Division
Training and Development Center Staff
Charini Phunkasem

バンパイン工場では、2016年からアユタヤ県にある学校で、子どもたちに環境保護についての意識を高め、ごみの分別の重要性について知ってもらうための取り組みを行っています。

子どもたちには、タイのごみ問題の現状について、ごみ処理やリサイクルの方法、分別をしなかった場合の影響などを解説するだけでなく、さまざまなグループ活動やゲームを通して、実際にごみの分別を体験することで活動の意義を伝えています。また、継続してもらうことを目的に分別のためのコンテナ12個を寄付したほか、

資源保護やエネルギー問題に関する本やポスター、パンフレットなど、全部で1,133点を提供しました。

教育は、誰にとっても大切なものです。特に、これからのコミュニティを担っていく若い世代に、環境保護の意識を育てることはとても重要です。わたしたちの会社は、今回のような活動を通じて、より良いコミュニティ形成に貢献できたと考え、そのことを誇りに思っています。



小学校での活動

環境や衛生に関する出前授業

ロップリ工場(タイ)



NMB-Minebea Thai Ltd.
OHS&ENVI Division
Environment Staff
Thitaporn Kingnon

ロップリ工場では近隣地域や学校と協力して子どもたちへの教育支援を行っています。2016年11月には、地元の小学校で、自然環境や衛生についての意識を高めるための出前授業を行い、4~5年生の生徒35名が参加しました。

全6回の授業で、「廃棄物処理」「蚊や幼虫についての調査」「病気を媒介する動物や昆虫」「栄養と食品安全」「手洗い」の五つを主要テーマにお話をしました。

基になる資料は専門的で難しいものも多かったのですが、子どもたちに理解してもらえよう、アニメーションを用意したり、クイズやゲームをまじえたりといった工夫を凝らして解説しました。その結果、とても

興味を持ってもらえたようで、「また同じような企画をしてほしい」の声をいただいています。

コミュニティにおいても学校でも、環境問題や衛生についての知識はまだ不足しており、誤解されていることも多いと感じます。わたしたちの活動が、正しい理解を広げるための一助となればうれしいです。

また、こうした活動はコミュニティと会社との間に良好な関係を築くことにもつながると感じています。今後、ほかの学校やコミュニティにも、同様の活動を広げていきたいです。



従業員による出前授業



科学技術に触れる機会の提供「TECHNOLino」

myonic GmbH(ドイツ)

myonic GmbH
Trainer
Franz Bauhofer

わたしたちmyonic GmbHでは2009年から、地元の学齢前の子どもたちを対象に、「TECHNOLino」の活動を行っています。それは、子ども向けの社内ツアーを行うとともに、当社の研修生が幼稚園を訪れ、実験や工作の授業を実施しています。これは、当社も参加する経営者連盟の主導で、学齢前の子どもたちに科学や技術に対する興味を持ってもらうための機会を提供しようというプロジェクトです。

授業内容を決めるに当たっては、その年代の子どもたちが自分でできる作業を選ぶこと、そして何より事故の危険がないことを重視しています。子どもたちは常

に好奇心に満ちていて、答えるのが難しいような質問をしてくることもあります。そうした体験が、研修生にとって大きな学びの機会になっているだけでなく、会社全体に新しい発想をもたらしてくれていると感じます。

将来的には、ぜひ授業を受けた子どもたちの中から当社のインターンや研修生になってくれる子が出てきてほしいと思います。そして、今後もこうした取り組みを続け、さらに発展させていくことで、当社に興味を持ってくれる人を増やしていきたいと考えています。



子どもを指導する研修生



地域と連携した人材育成

New Hampshire Ball Bearings, Inc.(アメリカ)

New Hampshire Ball Bearings, Inc.
Labor Relations & Organizational Development
Corporate Manager
Gary Groleau

New Hampshire Ball Bearings, Inc.(以下NHBB)の本拠地であるニューハンプシャー州では、製造業は他の業種に比べて人気がないことから、高い技術を持った人材を雇用することが大きな課題となっています。そのため地域と連携した取り組みのほか、大学生のインターンシップを受け入れ、実際に仕事を体験してもらう取り組みを行うなど、将来の人材育成を今後も行っていきます。

例えば、同州では毎年、わたしも諮問委員をつとめる「製造業拡大パートナーシップ(MEP)」と州の教育・経済部門などの協力により、州全域で「ニューハンプシャー製造業ウィーク」が開催されます。

「製造業ウィーク」期間中、NHBBを含む製造業者は中学生や高校生向けの工場ツアーなどを実施します。

そこでいかに多岐にわたるものが製造されているかなどについて知ってもらうとともに、製造業におけるキャリアパス^{*}の相談にも乗る機会を設けています。このプログラムはもともと、NHBBのラコーニア工場が始めたものなのですが、またたく間に州全体のプログラムとして採用されることになりました。

2016年度の期間中には44の学校から1,850名の生徒たちがNHBBを訪問しました。さらに2017年度は、「製造業ウィーク」から「製造業月間」に規模を拡大し、かつてないほど盛大に開催される予定となっています。

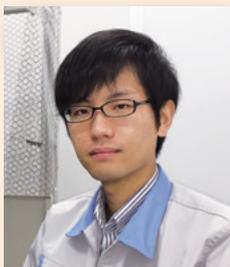
^{*}どのような職務に就くか、どのような経験を積みどのようなスキルを身につけるかといった道筋のこと。



地域の技術教育施設での実習

小学校での出前授業

米子工場(日本)



DCモーター事業部
ブラシレスモーター技術部技術1課
水戸 章弘

2017年2月、米子市立箕蚊屋小学校の5年生60名向けに「出前授業」を行いました。

テーマは「モーターを学ぼう」です。グループに分かれ子どもたち自身に実際に簡単なモーターを組み立ててもらい、モーターやものづくりに興味を持ってもらうことを狙いとした授業です。事前に学校の先生方とも打ち合わせを重ね、うまく子どもたちの関心を引き出せるよう内容を固めました。

当日は、次々と質問の手が挙がり、講師役の従業員が圧倒されるほどの熱気でした。組み立て作業がうまくいかず悪戦苦闘する様子も見られましたが、最終的

にはすべてのグループで無事モーターが完成し、「動いた!」という喜びの声があちこちで上がりました。

今回の授業を通じて、「電気」「磁石」といった学校での勉強の積み重ねの先に、モーターのようにわたしたちの生活を豊かにしてくれるものが存在していることを伝えられたのではないかと考えています。今後もこうした活動を続け、ミネベアミツミの名前を知ってもらうとともに「この会社で働きたい」と言ってくれる若い世代を増やしていきたいと思います。



モーターの組み立て

中学生の職場体験学習

軽井沢工場(日本)



軽井沢工場
人事総務部 主任
重信 裕文

軽井沢工場では以前から、高校生のインターンシップ受け入れや地元中学校での出前授業などを行ってきましたが、2014年度からはそれに加えて、中学生の職場体験学習の受け入れを開始しています。

これは、御代田町立御代田中学校の生徒3~4名が2日間にわたって工場を訪れ、ベアリングの組み立てなどを体験するというものです。当社での職場体験希望は非常に多く、その中から選ばれただけに真面目で熱心な生徒ばかりでした。後日送られてくる感想文に「将来はミネベアミツミで働きたい」と書いてくれることもあります。

若い世代、特に将来のさまざまな選択肢を前にした中学生にもものづくりを経験する機会を提供し、その興味を伸ばすことは、次世代育成に向けた重要な使命です。また従業員にとっても、子どもたちの反応を通じて自分が働く会社にあらためて誇りを感じる機会となっています。今後も、さらに多くの生徒たちに当社での職場体験学習を希望してもらえよう、さまざまな形で地域への貢献を続けていきたいと思っています。



職場体験開始前の
オリエンテーション